

なすしおぼら



平成29年4月20日発行

第63号

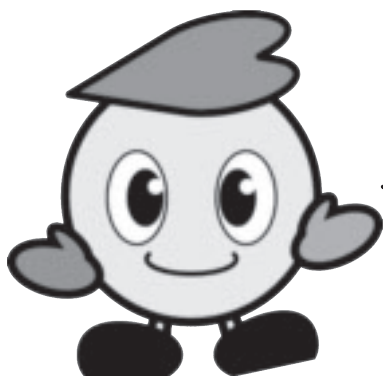
社協だより



3月15日(水)、旭町公民館にて「関谷万年生きがいサロン」が行われました。毎回恒例となっている、音楽に合わせた介護リハビリ体操の様子です。

市内の音訳ボランティアのみなさまの協力を得て、目の不自由な人のために音訳版社協だよりを発行しています。詳しくは社協総務課までご連絡ください。

平成29年4月から 地域福祉活動計画が 始まりました～！！

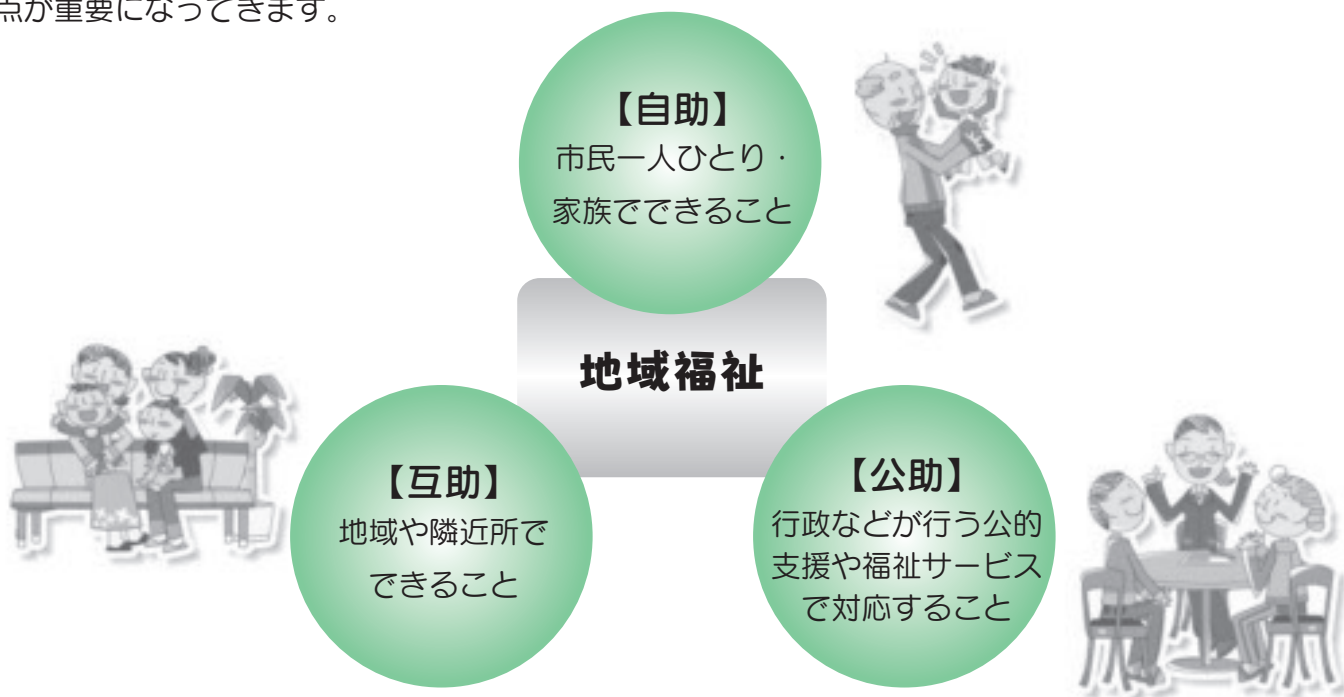


平成 27 年度から策定していた
地域福祉活動計画 が完成したよ！
そもそも地域福祉ってなに？活動計画って？
これから一緒に内容を見ていこう！！

地域福祉活動計画とは？



まず地域福祉とは、地域で暮らす誰もがいきいきと自立した生活を送れることを目指し、地域に関わる全ての人（市民・企業・社会福祉を目的とする活動を行う者、事業者・行政・社会福祉協議会など）が力を合わせて、地域の課題解決の仕組みをつくることです。解決に向けて地域のことをよく理解されている市民自らが実践していくことが求められますが、その際には「自助・互助・公助」の視点が重要になってきます。



課題解決に向けた共に助け合い、支え合う社会づくりを進めるための具体的な活動や行動の計画が『**地域福祉活動計画**』となります。

計画が出来るまで



計画を作成するために次のようなことを実施し、現状や課題、できることを把握し、計画の内容について協議をしました。

①アンケート調査

◇平成27年12月に「那須塩原市地域福祉に関するアンケート調査」を実施

◇平成28年2月～3月に「福祉に関する中学2年生アンケート調査」・市内の「居宅介護支援事業所へのアンケート調査」を実施

②地域座談会

◇平成27年11月～平成28年2月に市内15地区において地域座談会を実施

◇平成28年5月～6月に市内を5地区に分けて2回目の地域座談会を実施

③専門職ヒアリング

◇地域包括支援センター・自立支援協議会事業所部会・社会福祉協議会居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・公立保育園副園長を対象に実施

④策定委員会・検討会議・作業部会の設置

◇地域福祉に関する事項を審議するために市民・自治会・民生委員児童委員・学識経験者・福祉に関する団体及び事業者・行政機関関係者で構成する委員会などを設置

⑤市民意見募集

◇計画に市民の意見をより反映させるために平成28年11月に市民からの意見を募集



地域座談会では多くの市民の方からたくさんの意見が出ました！



保育園副園長のヒアリングでは専門的な立場からの意見が出ました！



アンケート調査や地域座談会などからみえた地域福祉に関する課題

【課題 1】総合相談・支援体制の確立の必要性

- 支援を必要とする地域住民のニーズは多岐にわたっています。
- 地域と一体となった総合的な相談支援体制を確立する必要があります。

【課題 2】誰もが安心・安全に生活できる地域づくりの必要性

- コミュニティ機能の低下や、交通手段の確保といった課題についても検討が必要になっています。
- 地域福祉の考えを取り入れた防災力の強化が重要になります。
- 地域の見守り活動を中心とした、住民が主体となる防犯対策が必要になっています。
- 高齢者、障がい者、子育て中の親などを対象とした地域の交流の場づくりが大きな課題となっています。

【課題 3】地域福祉を進める意識づくりや人づくりの必要性

- 福祉の機運を醸成するため、講演会・研修会・広報記事などにより、周知、啓発を行うとともに、地域の教育機関や福祉団体などが連携して福祉教育を推進することが必要です。
- 多彩な地域福祉活動を支えるボランティアや市民活動を担う人材の確保を図ることが重要です。
- ボランティア活動に関する相談や援助などを行うボランティアセンターの機能を強化し、その役割を果たしていくことが求められています。



今回の説明はここまでにして、次からの社協だよりでは実際にどのように活動していくのかを話していくよ～！

地域福祉活動計画には、市民みんなで地域をより良くするためにはどうすれば良いのかがたくさん詰まっているから、是非見て、自分がこれから何かできること・今以上にできることがあるかを考えてみてほしいな。だって地域に住むほくたちにしかできないことだから！！

【地域福祉活動計画についてのお問い合わせ先】
地域福祉課地域支援係 TEL0287-37-5122

評議員紹介

社協の議決機関である評議員会の評議員は15名です。

【任期】平成29年4月1日～選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

選出区分	氏名（敬称略）
介護保険事業者	原 修一
民生委員児童委員協議会連合会	相馬 宏夫、渡邊 シヅイ、寺戸 博道
社会福祉団体（当事者団体）	本澤 恵美子、相馬 一男、高橋 美代子
自治会長連絡協議会	三本木 忠二、小出 昭夫
ボランティア団体	伊吹 桂子
保護司会	相馬 秀和
地域包括支援センター	増渕 祐子
特定非営利活動法人（高齢者）	人見 延江
特定非営利活動法人（児童）	西田 由記子
特定非営利活動法人（地域活動支援センター）	遠藤 真史

栃木県運営適正化委員会からのご連絡

栃木県運営適正化委員会は、福祉サービスに関する苦情や相談をお受けし、事業所への調査や話し合いによるあっせんを行う等、苦情の解決を図ります。

例えばこんな時・・・・・・・・

- ・約束したはずのサービスが受けられない。
- ・支援の仕方が乱暴だ。
- ・もう少しプライバシーを守ってほしい。

このように、利用している福祉サービスが、事前に説明された内容や契約内容と違っていたり、職員の言動に傷つけられた等、サービスの内容に疑問や不満を感じていることはありませんか？

相談は電話や来所の他、文書やメールにても受け付けています。



連 絡 先：栃木県運営適正化委員会（宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内）

TEL 028-622-2941 / FAX 028-622-2316

E-mail asu.sw@dream.ocn.ne.jp

相談時間：月曜日から金曜日まで 午前9時から午後4時まで（祝日、年末年始は除く）

そ の 他：相談料等はすべて無料です。 秘密は厳守します。



平成29年度事業計画

基本方針

はじめに

少子高齢化はますます深刻化し、地域社会や家庭の様相は大きく変容しており、社会的孤立による孤独死やひきこもり、経済的困窮者の増加など、地域における生活課題は山積しています。

誰もが安心して安全に住み続けられるまちづくりを使命とする社会福祉協議会は、高齢者への生活支援をはじめとして、地域の課題を正面から受け止め、課題解決に向けた取り組みを進めていかなければなりません。

平成29年度からは、社会福祉法の改正に伴い、地域ニーズに応えるべく具体的な事業展開が義務付けられました。従いまして、本会では、経済的困窮者や高齢者、障がい者等の抱える課題などの解決に向けた取り組みを地域の活動の中に取り入れていく包括的な仕組みを構築していかなければなりません。並行して、平成27年度から進めております「地域住民助け合い事業」の対象地域拡大をしております。

また、本会は、経験豊富な介護部門や時代を担ってきたボランティアセンターがあり、市民のボランティア力を結集し、その実力を発揮する年度となるよう努力していきたいと考えています。

1 地域福祉活動計画の推進

地域における様々な福祉課題を解決するために、地域住民や関係団体と連携を図りながら「地域福祉活動計画」を実行してまいります。あわせてこの計画の主役である市民や関係機関の本計画に対する理解を深めるようホームページやその他様々な機会を通じて本計画の周知を図ってまいります。また、計画・実行・評価・見直しを繰り返すPDCAサイクルの考えのもと、「(仮)那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会」を組織して、計画における各取り組みの進捗状況について評価し、計画を実行してまいります。

2 地域住民助け合い事業の推進

誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、住民による見守りや生活支援等の助け合いによる地域づくり及び緊急時や災害時に適切に助け合える体制の構築を図るとともに、高齢者の社会参加の促進のため、高齢者自身が助け合いの担い手として活躍できる地域づくりを推進します。

平成29年度は、平成27年度以降に進めてきました7か所の公民館エリアに加え、新たに3か所のエリアで見守り活動などの仕組みづくりをめざします。



重点目標

3 ボランティアセンターの運営強化

地域福祉を担うボランティアの支援・育成を図るため、コーディネート業務をはじめ、広報の充実、地域のニーズに即した講座の開催、関係団体との連携強化、住民が気軽に立ち寄れる居場所の提供などを通してボランティアの活性化を図ります。さらに災害時における緊急ニーズに応えられるシステム（災害ボランティアセンター）の設置ができるよう努めます。



4 福祉サービス利用を支援する事業の充実

日常生活自立支援事業、生活困窮者自立支援事業、指定特定相談・障害児相談支援事業を推進し、要支援者が地域で自立した生活を送ることができるよう、関係機関と連携を図りながら、要支援者に寄り添い課題解決に向けて支援します。





平成29年度予算

(単位：千円)

○収入

勘定科目（大）		予算額
事業活動による収支	会費収入	12,738
	寄附金収入	6,100
	経常経費補助金収入	178,211
	受託金収入	55,526
	貸付事業収入	3,540
	事業収入	4,000
	介護保険事業収入	94,412
	就労支援事業収入	8,292
	障害福祉サービス等事業収入	131,233
	受取利息配当金収入	2,707
	その他の収入	2,021
施設整備等による収支		
その他の活動による収支	基金積立資産取崩収入	56,968
	積立資産取崩収入	11,666
	事業区分間繰入金収入	10,141
	拠点区分間繰入金収入	23,595
	サービス区分間繰入金収入	40,917
	その他の活動による収入	7,033
前期末支払資金残高		1,542
合 計		650,642

○支出

勘定科目（大）		予算額
事業活動による収支	人件費支出	394,413
	事業費支出	15,083
	事務費支出	60,874
	就労支援事業支出	8,292
	貸付事業支出	3,540
	共同募金配分金事業支出	8,894
	助成金支出	17,557
	負担金支出	120
施設整備等による収支	固定資産取得支出	1,447
その他の活動による収支	基金積立資産支出	24,731
	積立資産支出	17,076
	事業区分間繰入金支出	5,141
	拠点区分間繰入金支出	28,595
	サービス区分間繰入金支出	40,917
その他の活動による支出		13,272
予備費支出		10,690
合 計		650,642





第11回那須塩原市社会福祉大会

主催：那須塩原市社会福祉協議会、那須塩原市

2月25日(土)三島ホールにおいて「第11回那須塩原市社会福祉大会」が開催されました。

第1部式典では、永年にわたり社会福祉の増進に貢献された個人・団体や篤行・善行児童生徒、高額寄付者等へ表彰状並びに感謝状贈呈が行われました。

また第2部では、元アナウンサーであり、現在は小説作家として活動する傍ら、子どもや女性向けの本の専門店の主宰を行うなど、多方面で活躍されている落合恵子さんによる講演会が行われました。母親の介護経験を通して感じたことや、人が強く生きることのメッセージなどを説いていただきました。



那須塩原市社会福祉協議会会長表彰

(敬称略・50音順)

【社会福祉功労者】(16名)

青木 清子	磯 勇	城下みさ子	中山 フサ
秋元 功	後藤 勝雄	甚内喜代子	花塚 葉子
新井千枝子	斉藤 令子	隅 浩子	穂積 幸子
伊澤 昭夫	柴田 睦美	相馬 芳子	屋代 涼子

【社会福祉団体の功労者】(6名)

蝦名 眞	永井 美知
川嶋榮太郎	人見 和子
綱木 京子	八木澤郁子

【社会福祉功労団体】(3団体)

塩原のかたりべ
第8長寿会
三島長寿会

【自立更生者】(3名)

臼井 節子	福田 秀夫
中尾 廣志	

【ねたきり老人 長期介護者】(5名)

君島ヨシノ	沼部カツ子
城田 清子	吉田カツ子
田辺アサ子	

【篤行・善行児童生徒】(38名) (順不同)

黒磯小学校 6年 薄井 映那	槻沢小学校 6年 津布樂圭亮	厚崎中学校 3年 磯 尚樹
稲村小学校 6年 柿沼 千鶴	東小学校 6年 戸崎 健心	厚崎中学校 3年 小関真里奈
東原小学校 6年 時庭 美菜	南小学校 6年 西川 そら	日新中学校 3年 松本 直
埼玉小学校 6年 室井 杏菜	西小学校 6年 篠木 琉衣	日新中学校 3年 津田 妃葉
豊浦小学校 6年 福武 直也	大山小学校 6年 小笠原優人	東那須野中学校 3年 玉木 滉人
共英小学校 6年 増子 陽季	大山小学校 6年 鈴木 紗羽	高林中学校 3年 八木沢 萌
鍋掛小学校 6年 藤田 励斗	関谷小学校 6年 阿久津龍馬	三島中学校 3年 加藤 優汰
大原間小学校 6年 室井寿朱華	大貫小学校 6年 臼井 紅男	三島中学校 3年 臼井 寧音
波立小学校 6年 市村 梓歩	横林小学校 6年 木川 瑠美	西那須野中学校 3年 正木 大智
高林小学校 6年 阿部 一花	塩原小学校 6年 君島 美晴	西那須野中学校 3年 星 綾乃
青木小学校 6年 浮須真太郎	黒磯中学校 3年 渡辺 奈桜	箒根中学校 3年 大島穂乃花
三島小学校 6年 福田 旺亮	黒磯北中学校 3年 近江 衿香	塩原中学校 3年 塩田 妃和
三島小学校 6年 沼宮内鈴奈	黒磯北中学校 3年 松橋 亜実	

那須塩原市社会福祉協議会会長感謝

【高額寄付者】(16団体・個人)

(敬称略・50音順)

泉カラオケ教室	ZAPP黒磯店	西那須野南部・北部地区民生委員児童
宇都宮ヤクルト販売株式会社	ZAPP西那須野店	委員協議会
黒磯ロータリークラブ	株式会社セグロ化粧品	ニラク大田原加治屋店
株式会社クワバラ・パンぷキン	那須塩原市商工会 黒磯支部	ブリヂストン労働組合栃木支部
高福寺	那須塩原ソフトテニス連盟	笑いを囲む会
コーヒーカップ&虹の会	那須塩原ダンス部	

那須塩原市老人クラブ連合会会長表彰

(敬称略・50音順)

【優良老人クラブ】(3団体)

五軒町福寿会
昭和クラブ
東小屋あじさい会

【老人クラブ育成功労者】(6名)

印南 武	月井 幸人
薄井 勝弘	薬師寺嘉範
相馬 大守	吉沢 一男

那須塩原市ひとり親家庭福祉連合会会長表彰

(敬称略)

【ひとり親家庭福祉連合会功労者】(1名)

矢口 磯子

ボランティアセンターだより

～ ボランティアセンター公開講座 ～

《今、必要とされている支援とは！ 実践編》

3月18日(土)いきいきふれあいセンターで、ボランティアセンター公開講座《今、必要とされている支援とは！実践編》を開催しました。

現在、日本では6人に1人が貧困層にあると言われ、その中でも特に『子どもの貧困』は大きな問題になっています。『子どもの貧困』とはどのような問題で、私たちには何ができ、どのような支援があるのでしょうか？

この問題をみなさんと一緒に考えるため、実際に活動している団体を講師に招き、『知る』だけでなく『実践』に向けて活動出来ることを目的に公開講座を開催しました。

第1部では、『さまざまな環境で育つ子どもたちに必要な支援とは』をテーマとし、『認定NPO法人だいじょうぶ 理事長 畠山由美氏』には生活支援の実情について、『栃木県若年者支援機構 理事長 中野謙作氏』には学習支援と子ども食堂の実情について、『認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク県北事務所 藤久保誠氏』には子ども食堂の立ち上げ準備等について、それぞれの活動や取り組みを通じ浮かび上がった課題や手応えなどが報告されました。



畠山氏の講演の様子

各講師が声をそろえて言っていたのが、子どもの成長に伴う社会問題として、貧困や不登校、家庭内暴力、引きこもりなどが起こっているが、それは『家庭内の問題だ』と家庭に任せるだけでは解決にならないということでした。子どもを社会で育てる仕組みであったり、様々な問題を抱えている親や子どもに寄り添いながらその家庭で『ふつうの暮らし』が出来るような支援が必要で、『家以外にも安心出来る場所がある』『家族以外にも自分に関わってくれる人がいる』と知ること子どもたちは『変化』出来ると語っていました。



交流会の様子

第2部では、講師を囲んでの交流会を行い、講師への質問や活動に向けての情報交換、課題の共有などを行いました。参加者の中には、子ども食堂を立ち上げたい、関わりたいという方が多く、市内だけでなく那須町や那珂川町、矢板市など近隣の市町からの参加もあり熱心に質問や情報交換を行っていました。

地域には、貧困の子どもだけでなく、居場所のない子どもや孤立している高齢者、周りとのつながりがない家族もいるのです。子ども食堂と聞くと『貧困の撃退』『困窮者支援』と思う方も多く、そのことを表に出して子ども食堂を開くと『貧しい子がいく所』という印象が強くなり、支援したくても子どもが来ないというところもあるそうです。

そこで、子どもを見守る地域の子ども食堂として開くことが出来れば、貧困の子どもや孤立している高齢者、地域とつながりのない家族だけでなく地域のみなさんも集まれる場所となり、ご飯を食べるだけでなく調理や準備に関わってもらったり、食事が出来るまでの間遊んでもらったり、宿題を見てもらったりなどの関わりのなかで新たなつながりが生まれ、助けてほしいと発信しにくい子どもや家族のSOSをキャッチ出来るそうです。

今回の公開講座で、『支援』だけでなく『つながり』の大切さ、『居場所』が心の支えになることを知りました。

《ボランティアを始めたい人、興味がある人は、

ぜひボランティアセンターにお越しください！！！！》

那須塩原市社会福祉協議会ボランティアセンター
那須塩原市桜町1-5 いきいきふれあいセンター内
TEL/FAX 0287-73-0073



ご協力ありがとうございました。 平成28年度社会福祉協議会会費 最終報告

昨年7月から平成28年度社会福祉協議会の会員加入のお願いをしたところ、多くのみなさまのご協力により、普通会費・特別会費・施設会費をあわせて、**12,171,100円**（3月31日現在）となりました。

会費は、地域福祉事業を支える大切な財源です。平成29年度の募集も7月から始まりますので、ご協力よろしくお願いします。

特別会員(法人事業所) 5件 30,000円（12月1日～3月31日加入分）

【15,000円】(株)佐藤設備 【6,000円】(株)佐野屋 【3,000円】(株)高木ペイント工芸／(株)ゼニス／松屋そば店



平成29年度日本赤十字社会員増強運動が始まります！

日本赤十字社では、毎年5月の「赤十字強化月間」にあわせて、「赤十字会員増強運動」を全国で展開しています。みなさまからご協力いただいた会費は、国内外における災害救護活動や社会福祉事業などに使わせていただきます。今年度もみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

日本赤十字社の「会員」とは、赤十字の人道的な活動に賛同し、毎年500円以上の資金協力をしていただく人のことです。個人・法人を問わず、どなたでも会員になることができます。赤十字事業の原動力であり、組織の根幹をなすもので、日本赤十字社では、一人でも多くの人に会員になっていただけるよう、お願いしています。

「日赤会費」及び「義援金」のご協力ありがとうございました。

【平成28年度 最終報告】

平成28年度の日本赤十字会費増強運動では、多くのみなさまにご理解とご協力をいただきありがとうございました。みなさまからご協力いただきました会費は、国の内外における災害救護活動や社会福祉事業などにつかわれます。

日赤社費 11,676,100円（3月31日現在）

また、災害義援金は、日本赤十字社を通じて被災者へ届けられます。なお、東日本大震災義援金ならびに熊本地震義援金につきましては、日本赤十字社にて平成30年3月31日まで受け付けを延長いたしました。引き続きみなさまの義援金へのご理解とご協力、よろしくお願い申し上げます。（3月31日現在）

東日本大震災義援金 72,481円

熊本地震義援金 867,045円

台風10号等災害社費 106,030円

ありがとうございます



※平成29年度より、これまで日本赤十字社にて使用していた名称に一部変更がございます。

「社費」→「会費」、「社員」→「会員および協力会員」に変更となります。

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金のご協力ありがとうございました。

【平成28年度 最終報告】

10月1日から始まりました共同募金運動は、みなさまのご協力により多くの募金が集まりました。

赤い羽根共同募金は、県内の社会福祉施設の整備や地域福祉活動に充てられ、社会福祉の向上に大きな役割を果たしています。また、歳末たすけあい募金は、市内で生活に困窮している人などに配分されました。

赤い羽根共同募金	12,202,096円
歳末たすけあい募金	7,177,918円

【法人募金】
NPO法人障害児・者トータルサポートセンター空
【学校募金】
三島中学校（1月1日～3月31日）



福祉活動紹介④

小地域福祉活Do

ー地域の安心・安全は、ご近所づきあいからー

～永田自治会 ながたサポート事業～

永田自治会では、平成28年度から「ながたサポート事業」を進めています。この活動は「地域の安心・安全は地域の住民によって確保しよう」というもので、約70名のボランティアで「ながたサポーターズ」を組織し、自治会内の65班を各班1～2名のサポーターの方が割り当てられ、担当しています。

今回、活動の一環として2月12日(日)に自治会内全域を対象とした防災訓練が行われました。午前10時に震度7の地震が発生したという想定で、サポーターの方がそれぞれ担当地区を回り、安全・安否確認を行いました。あわせて永田公民館にて炊き出し訓練も実施し、カレーを食べながらの反省会では、「この訓練が、ご近所のコミュニケーションを図る良い機会になった。」という意見が多く聞かれました。サポーターの方が、訓練の数日前に担当地区内を回り、サポーターの自己紹介と防災訓練の説明を行ったこともこの活動を広める良い機会となりました。



状況を報告！

炊き出し訓練も実施し、カレーを食べながらの反省会では、「この訓練が、ご近所のコミュニケーションを図る良い機会になった。」という意見が多く聞かれました。サポーターの方が、訓練の数日前に担当地区内を回り、サポーターの自己紹介と防災訓練の説明を行ったこともこの活動を広める良い機会となりました。

特別なことをするのではなく、普段のご近所づきあいの中で地域の安心・安全を作っていくという永田自治会のこの活動は、明るく元気なサポーターのみなさんに支えられています！



炊き出しの準備の様子

まごころありがとうございます

次の方々からあたたかい寄付をいただきました。

平成29年1月1日～2月28日寄付分

〔()の中は社協合併後、平成17年度からの通算回数、順不同、敬称略〕

福祉基金へ

匿名(7件)	55,554円	黒磯地区婦人会	17回	4,700円
美容室 五番街	44回 3,033円	株式会社エツリン	2回	1,000円
狩野地区コミュニティ推進協議会	9回 12,522円	エコライフネットワーク「とちぎ」	3回	3,291円
美和あずさ歌謡教室	2回 20,000円	那須塩原市生活学校	4回	1,000円
三川和洋	5回 30,000円	歌の仲間カラオケ竹の子の会	57回	10,000円
永岡久明	137回 6,000円	福祉協力店		12,081円
泉カラオケ教室	27回 10,000円			

善意銀行へ

ガイアらくらく館黒磯店	14回	菓子類2箱	ニラク大田原加治屋店	140回	菓子等8箱
ZAPP西那須野店	66回	菓子類9箱	栃木県立大田原高等学校	4回	雑巾110枚
加藤工務店	1回	毛布、シーツ	南地区コミュニティ推進協議会	13回	ウェス15箱、おむつ7箱
コーヒーカップ&虹の会	11回	車いす4台	ZAPP黒磯店	94回	菓子類3箱
夢屋 西那須野店	1回	菓子類2箱	浅田勝子	16回	タオル30枚

交通遺児基金へ

那須塩原フライングディスク協会	55回	3,000円
-----------------	-----	--------



いつもありがとうございます



コーヒーカップ&虹の会様



栃木県立大田原高等学校様



南地区コミュニティ推進協議会様

誰にでもやさしい地域福祉活動の拠点

平成29年1月1日～2月28日までに、次の事業所にご登録いただきました。

福祉協力店

事業所の名称(敬称略)	協力内容				
	①	②	③	④	⑤
山 三 茶 店					
株 式 会 社 エ ツ リ ン					

取組内容

①社協だより、ボランティア情報誌の設置 ②募金箱の設置 ③社協が実施する事業等のポスター掲示 ④社協が運営する施設の製品販売 ⑤その他、地域福祉への協力

こどもふくしコーナー



おしえて! ころまる

バリアフリー編③



こんにちは、ころまるです。新しい学年にも慣れたかな？
今回は「心理的なバリア」についてのお話をしていくよ。



みんなは、障がいをもっている高齢者の人たちが日々生活ある中での「心理的なバリア」って聞くと、なにを思い浮かべるかな？



うーん。「心」のバリアってことだから、まわりの人の思いやりが足りないこと、とかかなあ・・・。



そうだね。もっと詳しく言うと、障がいそのものや高齢者の人たちの苦手なことに対するまわりの人の知識不足だったり、偏見などからくる、「間違っただけ」の思い込みのことなんだ。たとえば、こんなもの!!



② 電車の優先席
優先席は、子どもや高齢者の人たち、足腰が悪い人たちのために「空けておく」ものではなくて、あくまで「優先」席なんだ。必要としている人が来たらゆずってあげればいいだね。



① 点字ブロック周辺への駐車

みんながとめているからって、とめてはいけないよ。目が見えにくい人たちは、点字ブロックを目のしるしに移動しているから、行先が分からなくなってしまうし、ぶつかったら怪我をしてしまうかもしれないよ。



③ 障がい者用駐車場

車いすに乗っていたり、高齢者や妊娠さんなどの、移動が大変な人たちのための駐車場なんだ。近いからってとめてはいけないよ。それに左右の白線の部分が車いすの乗り降りのスペースになっているんだ。他の場所だと隣の車があって乗り降りできないね。



どれも身近でよく見るけど、正しい意味は知らなかったな。障がい者用駐車場には、よく普通の家族がとめているのを見るけど、あれって妊婦さんだったのね。周りの人の理解がないと、とめづらいね。私も優先席が空いても座りづらいなあ・・・。



そのとおりだね。ひとりひとりが、今よりも少しだけ障がいや高齢者の人たちのことを知った分だけ、みんなが生活しやすい社会になっていくんだよ。正しい知識を身に付けて、みんなでよいよい社会を作って行こう!!
次回もバリアフリーを特集していくよ。



みんなもわからないことや気になることがあったら、僕や社会福祉協議会に連絡したい、自分で調べたいしてみよう!

発行 社会福祉法人 那須塩原市社会福祉協議会

住所 〒329-2705 那須塩原市南郷屋5丁目163番地 (健康長寿センター内)

TEL 0287(37)5122 FAX 0287(36)8710

ホームページアドレス <http://ns-shakyou.jp/> Eメールアドレス info@ns-shakyou.jp

